

マスクの効果

子供を対象にしたインフルエンザ防止目的の調査結果

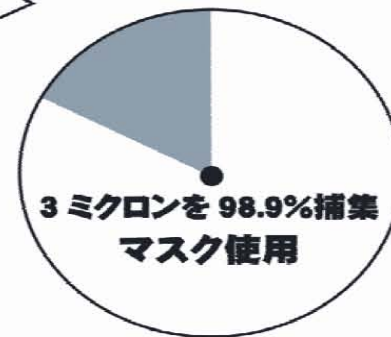
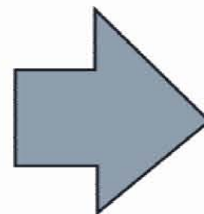
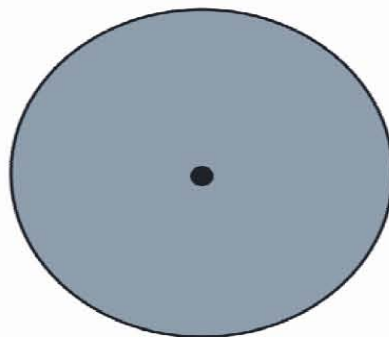
パンデミックに備える企業の増加などを背景にする大幸薬品の「衛生対策キット」＝大阪府吹田

「昨年秋以降、厚生労働省もインフルエンザ防止を目的としたマスクの着用を促している。マスクは、自分が感染しないようにするだけでなく、他人に感染を広げないという面で大きな効果がある。子供を対象にした調査結果によると、**現行のマスク着用でもインフルエンザの発症は5分の1に抑えられた**」

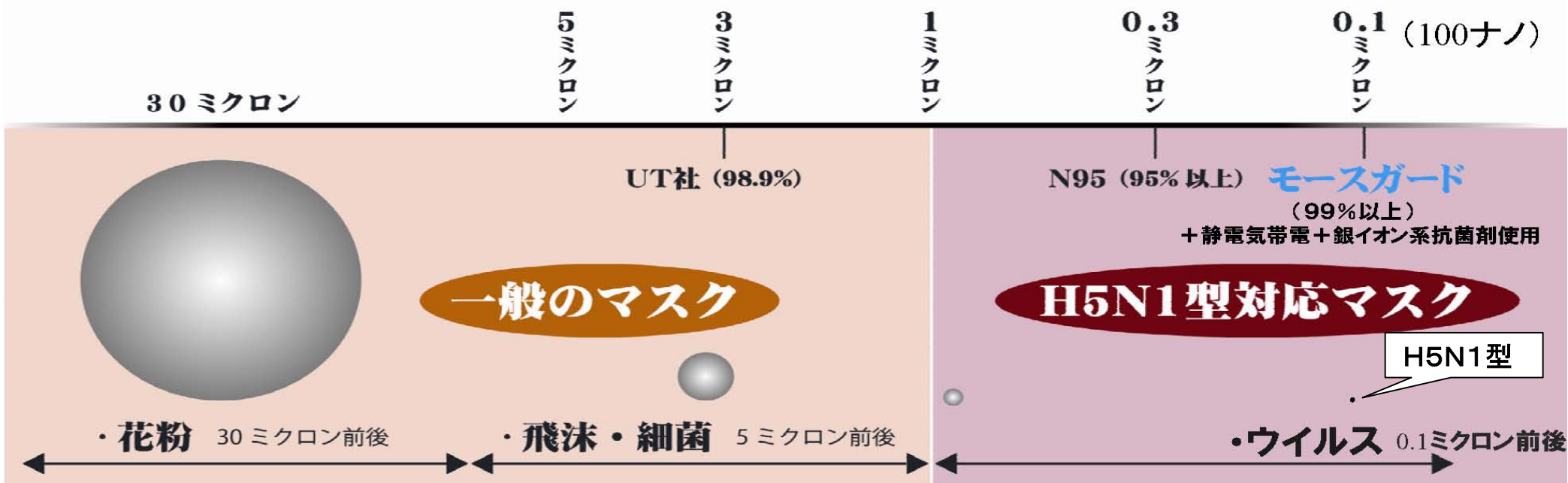
(ユニ・チャーム秘書広報IR)

フジサンケイ ビジネスアイより抜粋

<UT社調べ>



現行のマスク着用でもインフルエンザの発症を5分の1に抑えられた



花粉対策マスクと新型インフルエンザ対策用マスクは根本的に違います。

マスク製造の現状

マスク生産データ



花粉・病院用・食品工業用等が主流

日本国内で販売されているマスクは

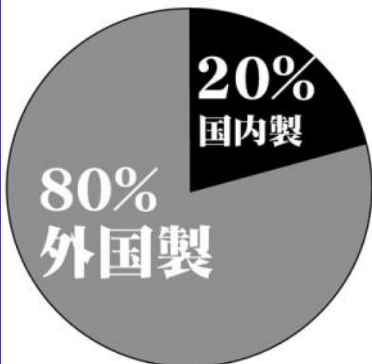
年間 **13~14億枚**

全国マスク工業会調べ

日本製マスク?

日本製マスクとして販売されているマスクは、国内流通量の約20%でその内、多数のマスクが実際に国内で製造されているかどうか把握できていない。

現状として、大手の工場のほとんどが製造拠点を中国に置いている。現製品の中には中国で製造したものを日本製と表示して販売しているものも少なくはない。



今必要なのは
強毒性ウイルス
対策マスク

モースガード開発

・ウイルスを通過させないフィルター

・隙間なし

・ウイルス自体を不活化